委員会　市民環境教育委員会

今回の委員会では、「静岡市生涯学習施設の利用方法一元化に関する陳情」が出され、協議されました。

生涯学習施設は、現在「生涯学習センター」と「生涯学習交流館」があります。設置の仕方が旧静岡市と旧清水市で違っていたということもあり、利用申請の開始時期や使用料に違いがあります。市内には 40 カ所の生涯学習施設がありますが、施設の半数近くは築 30 年以上経過しており、市の試算では 2019 年から 4 年間に想定される修繕や建て替えの費用は約 27 億 9 千万円にものぼります。市では、当面、現在の配置状況を維持するため、利用方法の一元化とともに施設維持のための利用者負担を検討しており、利用団体を対象とした説明会を開催してきました。

委員会でこの陳情について縷々議論討議を重ねた結果、今回は提出者が陳情を取り下げることで決着しました。今後は、当局と関係者が話し合う場が設けられ、12 月中旬から 1 月中旬にパブリックコメントが行われます。

【生涯学習施設利用方法の見直し案】

旧

		生涯学習団体：右記以外の団体	生涯学習団体：交流館で継続的に活動している団体	公共的団体（自治会、町内会、ＮＰＯ団体、文化協会、体育協会など）
生涯学習センター	申請開始	２か月前から		３か月前から
	使用料	半　額		半　額
生涯学習交流館	申請開始	３か月前から	３か月前から	前年度の１２月から
	使用料	半　額	無　料	無　料

新

		（仮称）利用認定団体	（仮称）地区公益活動団体
センター交流館共通	申請開始	３ヶ月前から	前年度の１２月から
	使用料	半　額	無　料

（仮称）地区公益活動団体とはこのような団体です

・連合自治会　・単位自治会　・各地区子ども会　・各地区体育会　・各地区防犯協会　・地区青少年健全育成協議会　・各地区の小中学校等ＰＴＡ、保護者会　・各地区社会福祉協議会　・各地区まちづくり推進委員会　・各地区民生委員児童委員協議会　など

＊平成 31 年度については、現行通りの制度、手続きにより利用できます

平成 31 年度当初予算への政策提言

志政会は 11 月 1 日、田辺市長へ平成 31 年度当初予算への政策提言を提出しました。

平成 30 年度は第 3 次総合計画前期実施計画の最終年です。後期実施計画のスタートにあたって、前期計画の評価、後期計画の見直しを実施し、また今後予定されている大規模公共事業については、事業の投資効果を明確にし、市民に理解を求める必要があります。

提言書では、アセットマネジメントの推進や清水区の医療体制の強化、広報活動の強化など 40 項目にわたり要望しています。提言書の内容は志政会ホームページに掲載しております。

人口減少対策特別委員会　市長へ提言書を提出

人口減少対策特別委員会は 11 月 13 日、子育て環境の整備や働く場の確保を盛り込んだ人口減少対策の提言書を田辺市長へ提出しました。

提言書では子育て世帯の経済的負担を軽減させる政策の検討や放課後児童クラブの待機児童ゼロを 2020 年度までに達成すること、若者の創業支援、市内企業のニーズに応じた支援の拡充などを要望しています。このほか、5 月に視察した千葉県流山市が導入しているマーケティングを扱う専門部署の設置も提言しました。

佐藤せい子（志政会所属）議会だより

H31 年 1 月発行
発行／静岡市議会志政会
編集／志政会 広報部

〒422-8004
静岡市駿河区国吉田 4-25-19
TEL：054-267-2000
URL：satoseiko.com

11 月議会

平成 30 年 11 月議会が 11 月 21 日～ 12 月 13 日まで会期 23 日間で開催されました。12 月 4 日の総括質問で登壇し、「市政遂行と諮問などを行う付属機関等について」質問を行いました。特に、現在進行中の付属機関 ①高等教育のあり方検討会 ②旧青葉小学校跡地利活用検討懇話会 ③行財政改革推進審議会について質問しています。以下はその抜粋です。

私は、9 月議会の質問で、政策の遂行・優先順位は市長の思い一つ、リードで決まると述べました。市長は、就任当初から一貫して「政策遂行の選択と集中」を述べてこられました。思いもよらない自然災害による影響や、異常気象によるエアコン設置、また 5 大構想の歴史・海洋・教育の各分野の拠点づくりなど、大きな財政負担が見込まれる中、人口維持という高いハードルもあります。

市政遂行、政策の実行には多くの人、多方面からの賛同が必要です。そのために、市長には様々な市政遂行にあたり、専門家や学識経験者、また市民の考えや思いを聞くための付属機関等を設置できる力が付与されています。政策を膨らませ、現実味のあるものに進めていく手段と言えます。

Q　現在、静岡市で設置している付属機関等は、どのような状況ですか。

A　付属機関等の設置は、専門的な意見、関係団体の意見、市民の皆さんの意見を市政運営に取り入れるための手法の一つです。H30 年 4 月現在、静岡市の付属機関等の数は 158 あります。付属機関等の委員の数は、原則 15 人以内で、委員の構成は、幅広い分野・年齢層から選任するほか、女性委員の割合は 40%以上、公募による市民委員の割合は 20%以上を目標としています。それぞれの目的に応じ、弁護士、大学教授、経営者などの有識者や関係団体の代表者、市民の皆さんを委員として、その意見を聴取し、議論の結果を取り入れながら市政運営を行っています。

現在進行中の付属機関「高等教育のあり方検討会」についてお伺いします。市長は委員の皆さんには、大所高所の観点で、幅広く静岡市にふさわしい高等教育のあり方を議論いただき、真の地方創生に繋がるアイデアを出していただくことを期待していると述べておられます。私も傍聴させていただきましたが、当局から審議あるいは検討する課題を提示され、それを元に意見を述べるというやり方ではなく、委員の皆さんがそれぞれに高等教育のあり方について述べており、検討会のやり方が斬新であると感じました。

Q　高等教育のあり方検討会はどのような目的で開催しているのですか。また会の特色はどのようなものですか。

A　東京一極集中が解消されない中、優秀な人材を地域で育成し、地元で活躍できる仕組みを構築することは、静岡市の将来に渡る持続的な成長のカギです。国レベルでの議論をただ待つのではなく、各分野の有識者を集め、市独自で高等教育のあり方を検討する場を設けることにしました。

市民の皆さんからの幅広い学びや、経済界などから寄せられる様々なニーズを十分に踏まえる必要があります。間口、奥行のあるテーマであるため、市が提示した素案に対する意見を求めるという手法は採らず、各委員が論点や解決策を自由に発言するという新たな試みを行っています。

現在進行中の付属機関「静岡市旧青葉小学校跡地利活用方針検討懇話会」についてお伺いします。これに関連して、既に閉会しておりますが「静岡市歴史文化施設建設検討委員会」では平成 27 年度に（仮称）静岡市歴史文化施設建設基本計画を策定しています。この中で、旧青葉小学校跡地は、歴史文化施設と民間施設との複合化を前提として活用するとされています。

Q **歴史文化施設と民間施設を分棟で進めることは、どのような経緯で決まったのですか。**

A 平成 28 年度、民間施設の導入について調査を進めた結果、歴史文化施設と民間施設を合築で建てるよりも分棟で建てる方が、双方にとって建築設計の自由度が高いことや建設スケジュールの制約が少ないことなどから、分棟がより望ましいと判断しました。

Q **市が利活用にあたって重視している考え方は、どのようなものですか。**

A 計画地の利活用にあたっては、駿府城三の丸に位置する希少な土地である特性を考慮し、主に３つの考え方を重視していきます。

①本市のブランディングの向上に資すること ②歴史文化施設を始めとした周辺の事業や施設との連携に、より相乗効果を生み出せること ③駿府城公園周辺への景観へ配慮すること です。

今後、民間業者へヒアリングを行うとともに、懇話会で意見を伺いながら、本年度末を目途に、民間事業者の参画が見込める利活用方針を作成していきます。

歴史文化施設イメージ

「静岡市行財政改革推進審議会」についてお伺いします。これまでの行革審は、財政的に無駄遣いは許さないというような厳しい苦言を呈してきたと思っておりましたが、今回は、「歴史・文化資源の活用及びその周辺地域の連携による地域活性化について」という諮問を受けたと伺いました。

Q **今年度の静岡市行財政改革推進議会では、どのような観点から諮問を行い、どのような意見が出ていますか。**

A 諮問事項については、行財政改革による単なるコスト縮減だけを目ざすのではなく、民間の発想や手法を活かすことで、より効果的な行政経営に繋げるという観点から行っています。平成 30 年度は、「歴史・文化資源の活用及びその周辺地域との連携による地域活性化について」諮問しました。

今回は特に登呂遺跡、登呂博物館、芹澤銈介美術館を中心とした登呂エリアをモデルに取り上げ、これまで主に保護することを重視してきた文化財を観光資源等として活用することで、市民の皆さんが地域に対する誇りを育むことができるエリアとすることを目ざしています。今後論点を絞ったうえで、平成 30 年度末には答申としてまとめて頂く予定となっています。

今回は、それぞれの質問を 1 回しかやらず答弁の聞きっぱなしで、議論が深まらず物足りない感じでしたが、質問の内容が現在進行形のものが多く、結論はもちろん、経過の説明もできないとのことでしたので、残念ながら、踏み込むことができませんでした。

「高等教育のあり方検討会」については、市立大学ありきの検討ではないとの強調が、逆にこだわりになっていないかと感じます。B-nest にあった法政大学のサテライトキャンパスが閉鎖されるとのこと。とても残念です。高等教育の一翼を担ってきたことは事実です。ぜひ、あり方検討会で、どのような経緯で静岡市に開学されたのか、なぜ継続が難しかったのか等、既存の大学の利活用、連携なども含め分析していただきたいと思います。また、「行財政改革推進会議」については、歴史・文化資源の保護から活用への諮問がどう導いていくのかとても興味のあるところです。

さて市長は、静岡市第 3 次総合計画の 5 大構想推進の牽引役として、その推進を早める手段として SDGs があると説明されました。3 次総を「帆船」にたとえ、SDG s を「風」と表現されました。これから SDGs はどのような風になっていくでしょうか。今回質問した付属機関等の議論や諮問答申が、市政遂行にしっかりと活かされることを願うのみです。

11 月 補 正

一般会計補正予算５９億９，８３０万円を追加
台風被害復旧や小学校エアコン設置
今川義元公生誕五百年祭推進事業などに

■台風 24 号による災害復旧事業 … 8 億 417 万円（一般会計 7 億 8,747 万円、事業会計 1,670 万円）

9 月 30 日の台風 24 号の豪雨及び暴風により被害を受けた施設を復旧する。市の試算では、台風 24 号での被害は 18 億 8 千万円。路肩が決壊した道路の改修、スポーツ施設や河川での土砂除去、林道や治山施設での倒木除去など、計 221 か所の復旧に充てる。

（主）井川湖御幸線

（主）南アルプス公園線

中原スポーツ広場

中島テニスコート

治山施設

■「今川義元公生誕五百年祭」に対する負担金 … 1,800 万円（債務負担行為　6,600 万円）

① 今川復権まつり

【日時】 2019 年 5 月 3 日～6 日
【場所】 駿府城公園内及び周辺

② 今川シンポジウム

今川義元公の命日にシンポジウムを開催
【日時】 2019 年 5 月 19 日
【場所】 静岡市民文化会館
【内容】 講演会、子ども達の今川研究発表

③ 周知啓発事業

今川義元公の認知度を高めるための啓発事業及び今川義元公生誕五百年祭のプロモーションの実施
【内容】 ＴＶ・新聞でのＰＲ、書籍の発行等

【今川復権まつり（駿府城公園）】

■小学校へのエアコン設置費 … 39 億 3,422 万円

静岡市は 2021 年度までに全市立小中学校にエアコンを設置する方針だったが、国の補正予算案に盛り込まれた臨時特例交付金が本年度限りとされたため、エアコン設置を 1 年前倒しする。今回の補正予算では、小学校 86 校 1,289 教室分の設置費を計上。2019 年度中の設置完了を目ざしている。また、中学校は 2020 年度までの完了を目ざし、今後予算計上する。

■市立こども園へのエアコン設置費 … 7,927 万円

市立こども園におけるエアコンが設置されていない保育室及び遊戯室 14 園 23 室にエアコンを設置する。2019 年度設置完了を目ざしている。

■小中学校ブロック塀撤去費 … 2 億 7,987 万円

小中学校のブロック塀のうち、危険・不適合のブロック塀については 9 月補正で対応済みであるが、県の基準で適合とされたブロック塀のうち、高さ 80cm を超え 4 段以上のものを撤去し、目隠し・メッシュフェンスを設置する。 【対象校】 小学校 30 校、中学校 14 校

ブロック塀イメージ